

インプラント治療とは?

インプラント治療とは、何らかの原因で失ってしまった歯の代わりに、顎の骨にチタン製のネジを埋め込み、かぶせ物をして人工の歯を作る治療です。失った歯をこれまでと同じように機能させることが可能な、画期的治療法です。



インプラントの構造



インプラントの利点

- 自分の歯と同じ感覚で食べることができる
- 口元のコンプレックスの解消
- 歯を失った部分のみを治療でき、他の歯に負担をかけない



当院ではノーベルバイオケア社の
製品を使用しています。

▶ノーベルバイオケアとは

ノーベルバイオケアは、歯科用インプラントを世界で初めて製品展開した、審美歯科修復製品の総合メーカーです。近代インプラントシステムのパイオニアとして世界でNo.1のシェア[®]と一番長い歴史を誇り、その製品は世界70カ国以上で使用されています。

※2008年版現在



▶ノーベルバイオケア 患者カード

ノーベルバイオケアの製品を使用して治療をすると「ノーベルバイオケア 患者カード」がもらえます。本カードを携帯することによって、患者様ご自身による治療記録の保管が可能になるとともに、この治療記録をもとに、転居先でもメンテナンスが可能です。



もう一度、噛む喜びを。

天然の歯とほとんど変わらない自由を。
ノーベルバイオケアのインプラント治療。

インプラントの ご案内



ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社
www.nobelbiocare.co.jp

OP001A 0909

歯を失って
悩んでいませんか？

ブリッジにしたら…

- ブリッジを作るために健康な歯を削られてしまう
- ブリッジを支えている歯が痛んでしまい、結局抜くことになってしまう
- 健康な歯とブリッジの見た目が違って見える

部分入れ歯にしたら…

- 銀色のバネが見て恥ずかしい
- 口臭が気になる

総入れ歯にしたら…

- ガタガタして、硬いものが噛めない
- 食事の際、入れ歯と歯茎の間に食べ物が入り込む
- 歯茎がやせてくるので、作り直さないといけない

インプラントなら、
そんなお悩みを
解決できます。

インプラント治療によって、
天然の歯とほとんど
変わらない感覚で、
物を噛んだり、
会話を楽しむ
ことができます。



西山 真以

インプラントだからできる、 天然の歯と変わらない自由な生活。

●他の治療法との比較

治療方法とイメージ	硬いものが噛める	違和感がない	美しい仕上がり	保険適応がある	特徴
歯の根の代わりになるチタンの棒を骨に埋め込み、その上に歯をかぶせていく方法	◎	◎	◎	×	<ul style="list-style-type: none"> ▲頭の骨に固定されているので自分の歯と同じように食べることができる。 ▲周囲の歯に負担をかけない ▼簡単な手術が必要
失った歯の両側の歯を削り、冠を橋渡しすることによって失った歯を補う方法	○	○	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ▲固定式のため違和感がない ▼両隣の健康な歯を削らなければならぬ。 ▼周囲の歯に負担をかける
失った歯の周囲の歯に金属の留め金をつけて、取り外し可能な人工の歯を留める方法	△	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ▲歯を削らずに済む ▼食べ物が詰まりやすく、虫歯や口臭の原因になりやすい ▼周囲の歯に負担をかける
取り外し可能な人工の歯を頸の上に乗せる方法	△	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ▲簡便である ▼入れ歯がぐらついたり、ずれたりする ▼食べ物が入れ歯と歯茎の間にさまり、痛むことがある

インプラント

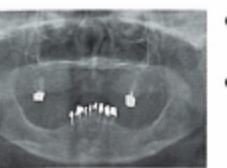
ブリッジ

入れ歯

総入れ歯

●インプラント治療の流れ

① 診査・診断



- ・インプラントを埋め込む顎の形や噛み合わせを診査するため、お口の中の型をとります。
- ・顎の骨の量や質を検査するためレントゲン撮影、またはCT撮影を行います。

② 手術

麻酔をかけて行いますので痛みはありません。骨を削りインプラントを埋め込み、蓋を取り付けて粘膜を閉じます。骨の状態などによって、術式が異なります。



【1回法の場合】

- ・1回法の手術の場合は、大きめの蓋を取り付け、お口の中にその蓋が見えるようにして手術を終します。



【2回法の場合】

- ・2回法の手術の場合は、一度目の手術の治癒期間終了後、粘膜を開けて、大きい蓋に取り替える二度目の手術を行います。



③ 仮歯装着

- ・治癒したところで場合によっては、仮歯を作り、実際に使用していただきながら形態や装着感などを確認します。
- ・かみ合わせや強度に違和感があれば歯科医師と相談し、本歯の作成に向けてデータを集めていきます。



④ 最終的な歯の装着

- ・仮歯の装着で得た情報を基に歯並びや色をチェックして最終的な本歯を作製します。
- ・作製した本歯を装着し、治療が完了します。



⑤ メンテナンス

- ・治療が終わった後も、定期検査をしながらきちんと管理ていきましょう。

よくあるご質問にお答えします

Q インプラントができない人はいますか?

A 以下の方はインプラント治療ができません。

- ・顎の骨の成長が終わっていない年齢の方
- ・歯磨きなどの日常の清掃が充分にできない方
- ・チタンへのアレルギーを持っている方
- ・アルコール依存症の方
- ・歯科医師と意思疎通がとれない方

Q 痛みはありますか?

A 手術中は麻酔をしっかりとかけますので、痛みはほとんど感じません。また、お口の中は体の他の部分と比べると、治りやすい部分でもあります。実際に手術された患者さんの感想は、思ったよりも楽だったというものがほとんどです。

Q 手術時間はどれくらいですか?

A 手術時間はインプラント体の数や手術の難易度によって異なり、個人差がありますが、通常、1本30分～1時間程度です。

Q 費用はどれくらいかかりますか?

A 症状や治療の内容により負担費用額は異なりますので歯科医師にご相談下さい。インプラント治療には健康保険が適用されませんが、医療費控除の対象になることもあります。

Q インプラントはどれくらいもちますか?

A 近年、インプラント治療の成功率は飛躍的に伸びています。20年累積残存データとして、上顎90%以上、下顎95%以上と言われています。これは上顎の骨質が下顎より弱いためです。40年以上使用している患者さんもいらっしゃいます。

Q 手術後、気をつけることはありますか?

A 歯科医師による定期健診とご自身による毎日のケアが必要となります。きちんとしたメンテナンスを継続することによって、インプラントを長く快適に使っていくことができます。